

8 南西地域（月津・串・日末）

1. 地域の現況

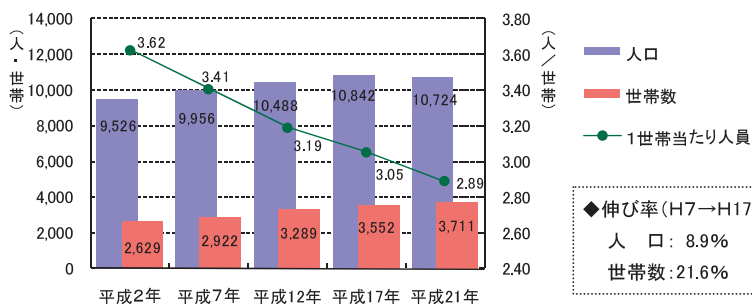
- ・本地域は、月津、串、日末の3校下からなり、本市の南西部、JR北陸本線の西側に位置し、南は加賀市と接している。
- ・地域の西端は小松空港と接しており、また、地域内には今江湯の干拓による広大な農地が広がっている。
- ・(株)コマツ粟津工場に隣接し、南部工業団地が形成されている。また、旧北国街道沿いの歴史的街並みの面影がみられる。
- ・地域内の90%近くが市街化調整区域であり、市街化区域は住居系と工業系の用途で構成されている。
- ・平成17年現在の人口は10,842人となっており、串校下の増加が著しく、月津校下は増加、日末校下は微増傾向にある。世帯数は3,552世帯で緩やかに増加している。
- ・平成17年の高齢化率は17.1%であり、湖東地域と並んで10地域の中で最も低い。

位置図



| ●基礎データ | 都市計画区域内に占める割合 | 都市計画区域内の平均 | 備考 |
|------------------|---------------|-------------|------------------|
| 面積 (ha) | 1,704 | 14.0% | 都市計画基礎調査値 |
| 人口 (人) | 10,842 | 10.4% | H17国勢調査値 |
| 世帯数 (世帯) | 3,552 | 10.3% | 〃 |
| 人口密度 (人/ha) | 6.36 | 11.19 | |
| 平均世帯員数 (人/世帯) | 3.05 | 3.02 | |
| 高齢化率 (%) | 17.1 【 7.9】 | 19.8 【 9.4】 | H17国勢調査値 |
| 【 】は75歳以上の割合 (%) | 20.3 【 9.3】 | 21.9 【10.7】 | 住民基本台帳 (H21.4.1) |

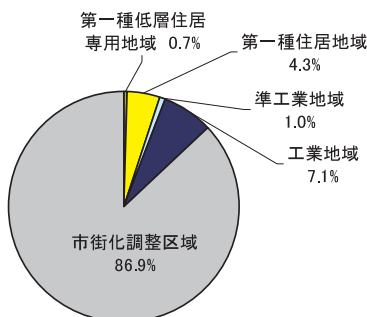
●人口・世帯数の推移



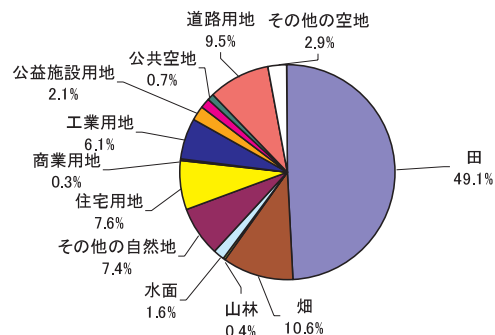
◆小松市高齢化率
H17: 20.3%【 9.8%】
H21: 22.7%【11.0%】
【 】は75歳以上の割合

出典: 国勢調査
(H21は住民基本台帳)

●区域区分・用途地域

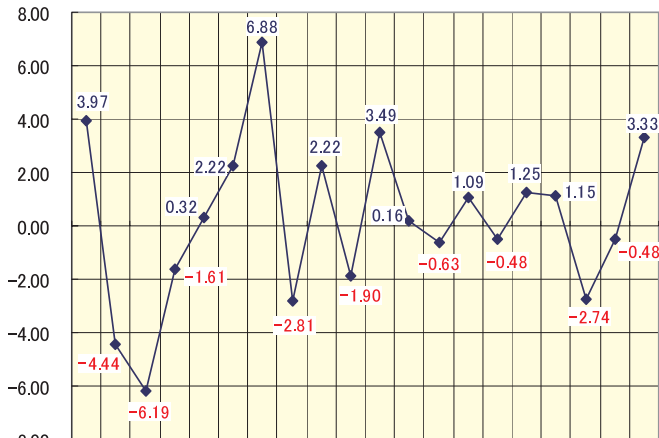


●土地利用現況



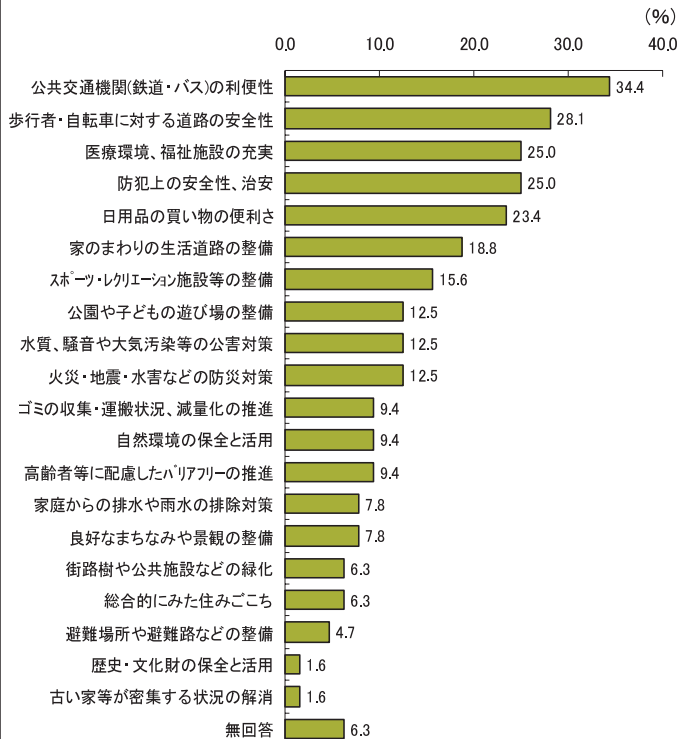
2. 住民意向調査結果

●生活環境の満足度



総合的にみた住みごこち
防犯上の安全性、治安
高齢者等に配慮したバリアフリーの推進
古い家等が密集する状況の解消
医療環境、福祉施設の充実
日用品の買い物の便利さ
避難場所や避難経路などの整備
歴史・文化財の保全と活用
良好なまちなみや景観の整備
自然環境の保全と活用
水質、騒音や大気汚染等の公害対策
ゴミの収集・運搬状況、減量化の推進
家庭からの排水や雨水の排除対策
街路樹や公共施設などの緑化
公園や子どもの遊び場の整備
公共交通機関(鉄道、バス)の利便性
歩行者・自転車に対する道路の安全性
家のまわりの生活道路の整備

●さらに住みよくなるために重要なこと



●具体的なまちづくりの方策について

◆道路交通網の整備について重要だと思うこと

歩道の整備や安全な通学路の確保

◆公園・広場の整備について重要だと思うこと

子どもや高齢者等が利用しやすい身近な公園や広場の整備

◆まちなみ景観について重要だと思うこと

山並み・河川などの自然や田園景観の保全

◆防災対策について重要だと思うこと

災害時の避難場所や備蓄倉庫などの整備

◆環境対策について重要だと思うこと

ゴミの減量化など、リサイクルの推進

◆市街地の整備について重要だと思うこと

・商店街の活性化や便利で利用しやすい商業地づくり
・公共交通機関の充実

◆JR小松駅周辺の整備や取り組みについて重要だと思うこと

駅周辺の商業機能の強化や商店街の魅力向上

◆まちづくりにおける市民の役割について

自分の住んでいるまちや地域に関心を持つこと

●若者が小松市に住み続けるために必要なこと(中学生の回答)

CD・ビデオショップ、書店など、若者の情報が得られる施設があること

●小松市で自慢できるもの(中学生の回答)

空港や駅、高速道路インターチェンジがあること

3 . 地域の特性と課題

〔特性〕

- ・ 本地域は、(株)コマツ粟津工場に隣接して、関連企業やジェイ・バス(株)等の工場群が立地し、南部工業団地を形成している。
- ・ 地域内には、広大な農地が広がっているが、宅地需要も高く、串地区において工業団地の整備が実施されている。
- ・ 串地区の旧北国街道沿いは、往時の面影をしのばせているほか、遊女の墓等の歴史的遺構も存在する。

〔課題〕

- ・ 市全域との調整を図りながら、土地の需要を見極めて開発と保全を行う必要がある。
- ・ 優良農地を保全し、生産基盤の確立を図るとともに、市街地化を抑制するため農地の無秩序な開発を防止する必要がある。
- ・ 開発にあたっては、自然環境や営農環境に十分配慮した開発の誘導により、自然的土地利用と都市的土地利用とが調和した適正な土地利用を図る必要がある。
- ・ 串工業団地の整備を推進するとともに、公害の防止や工場緑化の推進等により、周辺環境との調和を図る必要がある。
- ・ 串地区の住宅密集地において、居住環境や防災性の向上に資する基盤整備を推進するとともに、既存集落地においても生活道路や排水路等の整備を推進し、集落環境の向上を図る必要がある。
- ・ 小松空港周辺において、引き続き航空機の騒音等の環境対策を講じていく必要がある。
- ・ 南加賀道路・粟津ルート of 整備促進を図る必要がある。また、既存道路における歩道の整備等を推進し、快適で安全な通行環境の創出を図る必要がある。
- ・ 柴山承水路や前川等の水質浄化を図るとともに、排水機能の向上とあわせた水辺の親水整備を推進する必要がある。
- ・ 小松空港周辺の松林やアカバの森、農地の緑等の自然環境の保全と活用が求められる。
- ・ 地域内に点在する歴史・文化資源の保全を図るとともに、地域の魅力づくり等への有効活用を検討する必要がある。

4 . 地域のまちづくりの方針

4-1 . まちづくりの目標と基本的な考え方

〔まちづくりの目標〕

工業拠点にふさわしい活力を備え、
快適な暮らしと自然環境が融和するまち

〔基本的な考え方〕

本地域には、工場群や小松短期大学、住宅等が混在立地し、市街地を形成している。

また、(株)コマツ栗津工場に隣接して南部工業団地が形成されているほか、串工業団地の整備が進められており、本市の工業拠点の一つとして、活力ある生産活動を支援する工業立地基盤の整備充実を推進する。

一方、日末、月津の住宅地については、田園環境と住宅が調和したうらおいのある居住環境の維持・保全に努める。

さらに、地域内に広がる優良農地を保全するとともに、無秩序な市街化を防止し、良好な自然環境の中で産業活動と住環境が融和し、快適な暮らしを享受できる地域づくりを目指すものとする。

活力ある生産活動を支援する地域づくり

豊かな田園環境を活かしたうらおいある地域づくり

4-2 . 地域整備の方針

(1) 土地利用の方針

串地区等の既成住宅地において、道路や下水道等の居住環境整備を推進し、良好な住宅地環境の形成を図る。

市街化区域内の未利用地を積極的に活用した上で、新たに拡張した工業団地に伴い、受け皿となる住宅地の確保が必要な場合においては、穴抜けとなっている市街化調整区域の有効活用を検討する。

コミュニティ単位で人口が減少している地区では、既存集落周辺において、周辺環境との調和を図りつつ、地区計画の活用や開発許可等の諸制度の適切な運用により、一定割合の宅地化を進めることとする。この際、優良農地との整合に十分配慮し、必要に応じて都市基盤の整備を行うものとする。

月美丘や四丁町団地においては、公共施設等の更新に合わせて、生活環境の改善を図るほか、ライフスタイルの変化や居住者ニーズ等を踏まえ、周辺の既存集落を含めたコミュニティの維持を目指す。

南部工業団地及び新たに整備が進められている串工業団地については、周辺環境に十分配慮しつつ、基盤整備と施設誘致を推進し、良好な工業地の形成を図る。

日末、松崎地区においては、将来の土地需要を見極めた中で、周辺の土地利用との整合性に配慮しながら、工業系の土地利用を検討する。

柴山潟、今江潟の干拓地及びその周辺の優良農地については、今後とも保全を図る。

多くの若者や家族連れが集う小松短期大学、粟津公園周辺は、教育・スポーツの拠点として、施設・設備の充実や学びの場としてふさわしい環境づくりを図る。
(南央地域と共通)



南部工業団地等の工場群



今江潟干拓地



小松短期大学

(2) 交通施設整備の方針

南加賀地域と金沢港を結ぶ沿線には工業団地が多数立地しており、今後両地域を結ぶ道路の重要性が益々高まることが予想される。このことから、南加賀道路については、広域構想とあわせて更なる交通処理機能の強化を検討する。

(西部、中南地域と共通)

また、南加賀道路(粟津ルート)の未整備区間(国道305号以西)の整備を促進し、矢田野工業団地や粟津温泉等、地域間の連絡強化を図る。(南央、南東地域と共通)

(都)村松符津線の未整備区間(串・村松地内)の整備については、密集市街地を通過し、地域分断要因となりうることから、まちづくりの観点から整備のあり方について検討し事業を行っていく。



南加賀道路

(3) 公園・緑地整備の方針

前川沿いの遊歩道の整備充実を図るとともに、周辺の眺望・自然・歴史文化を活用したウォーキングネットワークの形成を図る。(西部、中南地域と共通)

小松空港周辺の松林やアカバの森、佐美山など、地域内に残る自然環境の保全を図る。



小松空港周辺の松林

(4) その他の施設整備の方針(河川・下水道等)

柴山承水路において、排水機能の向上を図るとともに、水辺の親水空間整備を検討する。

下水道については、順次整備を進めてきており、今後は効果的な財源活用等を図るため、効率的な汚水処理を検討しながら未整備区域の整備を推進し、良好な居住環境の形成を図る。また、下水道の接続向上については、戸別訪問、PR活動や普及促進サポーターとの協働により、一層の普及促進を図る。

(5) 自然環境保全及び都市環境形成の方針

小松空港周辺において、引き続き航空機の騒音対策を推進する。

南部工業団地及び串工業団地周辺において、騒音や振動、悪臭等の公害発生を未然に防止し、良好な地域環境の形成を図る。

柴山潟や今江潟の干拓地及びその周辺の優良農地は、生産拠点のみならず、環境、景観上の資源としても貴重な空間であり、保全に努める。

(6) 都市景観形成の方針

小松空港上空からの眺望を考慮し、空港周辺の建築物の屋根や外壁等においては、奇抜な色彩や形状を避けるとともに、資材の野積み等で美観を損なわないようにするなど、景観阻害対策に努める。(西部地域と共通)

旧北国街道沿いの街並みや遊女の墓等の歴史的遺構の維持・保全に努め、地域の歴史環境を継承する。

南加賀道路沿線は、のどかな田園風景に包まれており、屋外広告物の規制等により、良好な沿道景観の形成を進める。

(7) 都市防災の方針

安全な避難場所や避難路の確保をはじめ、狭隘道路の改善やポケットスペースの確保、公共建築物や災害時の避難場所等となる施設の耐震化を促進する。

